

令和4年度第2回阿南町総合教育会議議事録

日 時：令和5年3月23日（木） 15時36分から16時25分

場 所：阿南町役場協議会室（3F）

令和4年度第2回阿南町総合教育会議次第

- 1 開 会 総務課長
- 2 あいさつ
 - (1) 町長
 - (2) 教育長
- 3 意見交換
 - (1) 新野小中学校一貫校化について
 - (2) 令和5年度予算要望等について
 - (3) その他
- 4 閉 会 総務課長

《出席構成員》

町 長	勝 野 一 成
教育長	勝 又 司
教育長職務代理	林 一 仁
教育委員	大 倉 康 生
教育委員	田 嶋 修
教育委員	松 下 綾 美

《欠席構成員》

なし

《事務局》

総務課長	伊 藤 明
行政係長	南 島 剛 志

《出席職員》

教育委員会事務局長	熊 谷 寛
教育委員会子ども教育係長	渡 邊 美 樹
教育委員会社会教育係長	宮 下 善 太

1 開会

◇総務課長

みなさんこんにちは。ただいまから令和4年度第2回阿南町総合教育会議を始めさせていただきます。最初に阿南町長から挨拶をお願いします。

2 あいさつ

◇阿南町長

こんにちは。第2回の総合教育会議ということで、教育委員の皆様には色々と日頃からお世話になっております。町もご承知の通り少子化の問題を抱え、いろいろなところからご意見をいただいている訳ですが、何かしらの方向へ動いていかなければならないと思っております。また先般、下伊那の校長会のほうから高校再編の説明が広域連合の会議の折ありました。こちらも非常に難しい問題で、少子化がどんどん進んでいく中ですので、大変だなあと感じています。こちらも新しい提案が示されるかたちになってまいりました。本当に目まぐるしく変わっていくので、教育界も本当なわけですが、町も教育委員の皆様にご指導ご鞭撻を賜ってよい方向に進むようお願いしておりますので、本日はよろしく願いいたします。

◇教育長

こんにちは。先ほどの定例教育委員会に引き続きの開催ということで、委員の皆様には長時間の会議で恐縮です。

現在新野小学校と二中の一貫校化を進めている状況の中で、教育委員の皆様には依然とお示ししてございますが、保護者の方のアンケートの集計状況を本日改めて説明させていただきます。こちらをご報告させていただきながら、理事者のお考えもお伺いできればかと考えております。しっかり説明させていただく中で、ご意見をいただければかと思えます。会議の終了後、別の会議がございますので4時30分には終了できますよう、ご協力の程、よろしく願いいたします。ますよければ皆さんこれで

3 意見交換

◇総務課長

最初に新野小中学校一貫校化についてですが、教育委員会事務局より説明をお願いします。

◇教育委員会事務局長

※資料No. 1：一貫校化説明会を受けての新野地区保護者へのアンケート集計結果を報告。

◇教育長（補足説明）

先日、町内にチラシが配られ、ある程度の賛成、反対の様子が掲載されていましたが、アンケートによると23%が一貫校賛成、30%が統合等別の方法、20%が判断できない、27%が未回答ですので、まだまだ保護者の方の意見を聞かなければならない段階だと考えています。一貫校化の説明へのご理解をいただく段階です。

◇総務課長

只今説明がありました、この件についてご意見ございますでしょうか。

◇委員A

アンケート結果の公表はするのか。

◇教育長

令和5年度の新野学校PTAの役員の方が決まっている。まずは、PTA役員、再度保護者の皆さんに説明したい。

◇委員A

答えてくれた方は結果を気にされていると思う。アンケートを取った限りは公にすべき。

地区説明会、保護者説明会に出席して強く感じたのは、一貫校に納得して賛同している訳ではないということ。一貫校にしる統合にしる何らかの方向性を町が持ったのであれば、きちんとした姿勢としてアピールしないと、何時まで経っても反対の意見や、堂々巡りする意見が出てしまう説明会になってしまうと思う。町長なりの立場の方がいて明確に町の方向性を言わないと納得していただくことが出来ないような雰囲気を感じました。

◇委員B

ここまで数字が拮抗していると、我々教育委員が説明したところで埒があかない。一貫校自体に反対の方には、一貫校の説明をしたところで話が進まない。どこかで何かアクションを起こさないと事態は変わらないと思う。

◇委員A

今のご意見のように説明会に出席し色々なご意見を聞いているとジレンマを感じる。私たちが説得して納得していただいて物事を進めていかなければならない立場ではあるが、そういう立場である私たちが今の状況に対してジレンマを感じるということであれば、やはり踏み出していく力を削がれるようなことを現実的に感じますので、何としても一貫校で行くんだという意思を持つのであれば、かなり明確に強い姿勢で、方針として打ち出す必要があると思います。こんなことを2回の説明会で強く感じます。

◇委員C

感じることは同じようなことですが、アンケートの回答のなかで津曲印象に残るのは、いずれにしても中学生の人数が増える訳ではなく問題解決になりません。この説明会にどんな意味があるのですか。とありまして、何かモヤモヤしているんだなあと思います。スッキリとわかるような説明があるといいのかなあと思います。

◇委員D

アンケートをみるとそんなに一つの結果にまとまっている訳ではない。多少多いものにするというレベルでもないので、このアンケートの結果だけでは決定はできない。色々な考え方があって当然。一つの意見に説得して集約することは現時点では無理。教育委員会で考えたことは、令和6年度に複式学級になることをとにかく避けた。その思いで一貫校の方向性が最善策ではないかということで提案しているので、やはりそのことを判っていただくようにしていかなければならない。保護者のご意見を伺っていると子どもの人数が爆発的に増えることは考えられない、だから先を見据えて統合ってことも考えてもらいたい。そういうご意見も結構あったかなあと感じます。それも無視はできない。いずれは統合すると言ってしまっているのか、約束はできないが、取り敢えず令和6年度は中学校の場合、先生は教科別なので、先生の確保の必要があるということ理解していただいていたのが、教育委員会としての考え方になっているんだと思うので。

◇教育長

県には令和6年度に阿南町での一貫校について依頼しながら話をしている。少なくとも5年度の夏前には方向性を出さなければならないという状況でありますので、後には引けない状況のなかで話を進めている状況であります。松下委員さんのいうとおり教員確保のために進めていくつもりでおりますが、この一貫校化の次には、当然、中学の統合があるということを保護者にも理解していただかない限り、次に進めないのも事実だと思いますので、そのへんは今度保護者の方にも説明して理解していただかないと、一貫校についても協力していただけないのが現状ではないかと思う。保護者の大多数が統合したいということになれば、初めて統合策で進めることになると思います。今のところアンケートの数字で考えられることはここまで話したとおりです。

◇町長

これまでいろいろなかたちになるとは考えていなかった。南嶋教育長の頃からですからだいぶ時間が経ってしまいましたが、地元からある程度の方向性が出てこないなかで今の現状を維持していくには問題が出ている。それに対して対応していかざるを得ない。そういう中では今の一貫校の案で差し当たって乗り切るしかないということをやむを得ないのかなあと教育長とも散々議論をしてきた。旧村単位で考えると、いろいろな方からいろいろなご意見をいただいております。本来なら統合すべきというご意見も伺っていることも前にお話しした訳ですが、背景が色々あり、細かくは申し上げませんが、いろんな力が作用しており、保護者の皆様にも同じようなことがあり、その結果がこのアンケートの数字にも影響しているんだなあと感じております。

差し当たりは、現在の方針でこの難局を乗り切って、先生の確保だけは何とかしなくてはならないというのが、今の私の考え方です。

◇委員B

一貫校化の案で進めるしかないかなあとと思います。アンケートにもありますが、最初統合といって、今度は一貫校ということで、唐突感がある。先生確保ということがあまり理解されていない。一貫校で片方の方は取り敢えず理解される。が、統合して欲しいという方は理解されない。先はこのままではいけないという言葉だけではたぶん理解されない。こういう状況のままだったら何年後には統合すると示さなければいけない。もしくは一貫校のままで少人数の学校が嫌だったら学区を町全体にして一中、二中を自由に選択できるようにしないと駄目ではないか。それもまた色々な問題が出てくるとは思いますが。町長が言うように地域の人たちが分裂する可能性がある状況がずっと続いてしまう気がする。

◇教育長

その通りだと思う。しかし、毎年毎年というようなスケジュール感ですが、大多数の保護者の方が統合という気持ちになれば、地域の方がどう言おうが、統合すべきだと思う。町や教育委員会は統合すべきですよと言っていいと思う。そこがポイントだと思う。区域外も無いことは無いが、別の問題が起こってしまう。私としては保護者のお力をお借りしたいと現在は考えています。また、世の中の流れにアンテナを立ててしっかり状況を見極めていくということでもあります。統合希望の方には、ある程度の情報提供をしていくべきだと思います。それがどの程度がいいのかは教育委員会のなかで協議していただくなかで決めていきたい。

◇委員A

今の雰囲気だと、保護者の協力を取り付けるためには、3年後、5年後、或る時、ある期間に統合しますという情報を提示していかないとたぶん協力は得られない。そういったところまで決意をして、保護者との懇談、新役員との相談に向けた、教育委員会と町行政との意思統一を計ったうえでの説得をするべきだと思います。

印象的な意見で、いっそのこと多数決で決めたらという意見がありまして、ひょっとしてそれが最善の策かなあと考えたこともあった。ですが、アンケートの結果を見ると、たぶん多数決をとっても意味がない。これだけ意見が割れていると。一票でも差は差だと覚悟してやるのであればいいけど、許される環境になるのは恐らくないので、やはり条件として将来的に統合を検討する、或いはこの時期までに統合するという方向を出す、といった明確な条件付けをもって交渉にあたらないと進めない気がします。なぜかという、すぐ後には小学校の統合の話が来ている。和合は既に子どもが少なくなっている。新野もすぐにそうなる。富草や大下条だって決して大きな学校ではない。僻地校から脱却できる状態ではない。具体的な策はある訳ではない。そういうことを考えると、否応もなく一つの町に一つの小学校と一つの中学校という選択をせざるを得ない、或いはそういう構成にせざるを得ない時が遠からず来る。そういうことを念頭に置いて、具体的にそういう方針を出していく時期に来ている。失礼な

言い方をすると、その時に勝野町長が町長をされているかはまた別の問題ですのでそんなことをしてしまうのはとても勇気がいることですが、やはりそうしないと物事は進んでいかない。後1年しかない。このまま行ったら一貫校にできず教員確保ができないようになる。

◇教育長

取り敢えず一貫校で進めますが、期限を切れるものなら切れるよう、その辺を探りながら動き出したいと思っています。5年度も総合教育会議を何回も開催することになるかと思います。よろしく願いいたします。

◇総務課長

ありがとうございました。それでは次に令和5年度予算要望等について、事務局からお願いします。

◇事務局長

※資料No. 2について説明

◇教育長

教育委員会としては、予算を要求して理事者の方に要求が通ったというものであります。その中で一番ポイントっていうのが、子ども家庭総合支援拠点の充実ということで、今阿南町ではですね支援が必要なお子さんとか家庭が増えてきております。

児童数、生徒数が減っているんですが、そういった子どもたちが多いということで、現状の教育委員会の職員だけでは、対応できなくなってきています。その辺のところを踏まえながら、補助事業も交えながら、こども庁の設置にも対応しまして職員を増やしていただきました。その中で宮下先生にも加わっていただいて、支援員を増員いただいた。中学までは子どもを通じて家庭に入ることができるんですが、高校生から18歳までの間、義務教育から離れちゃうとなかなか相談に来たりとか子どもを通じて家庭に入り込むことができないといった穴がありましたので、それを埋めるためにこういった配置と体制を理解いただき整備したというのが令和5年度の目玉であると思っています。はっきり言って未知数です。果たして相談がそういう家庭から相談があるかもわからないんですが、一応教育委員会だけでできないので、民生課の保健師さんや保育園にも協力いただき、何とかそういった家庭の支援をしていきたい。ただ、動き出す最初ですので、その他に部活動の問題やら学校の事柄に支援をいただける体制ができたということで期待をしております。

◇社会教育係長

コロナも落ち着いてきましたので、公民館活動に力をいれていきます。また令和7年度に向けての部活動の地域移行についても、学校と調整しながら取り組んで参ります。

◇総務課長

ご質問・ご意見があればお願いいたします。

◇委員B

子ども家庭支援に予算をつけていただきありがとうございます。教育は人に対してお金がかかりますので、これからもお金をかけていただきたいと思います。

◇職務代理

私も聞きたかったのは子ども家庭総合支援拠点についてですが、こういった一つの部署的なものが教育委員会の中に職員や支援員を新たに配置してできるということでしょうか。

◇教育長

最初は子ども教育係に所属いただく格好で考えています。

◇委員A

組織的なもので、一つのグループ的な活動できるようなものができるということですね。浸透していくのに時間がかかると思いますので、町の方たちに積極的に活用いただけるよう単純に広報等に載せるだけでなくPRをしてください。

◇教育長

ありがとうございます。広報の仕方も、なかなか難しいかなと思っています。できるだけ相談に来てもらいやすいように考えたいと思います。

◇委員A

難しいのは個人情報に直接係わる話になる点ですね。

4 閉会

◇総務課長

これをもちまして令和4年度第2回阿南町総合教育会議を終了いたします。ありがとうございました。